

令和8年度

「小・中学生のためのフォレストスクール」のご案内

群馬県では、森林や環境に関する学習支援として「小・中学生のためのフォレストスクール」を実施しています。樹木・自然観察や自然体験遊びをはじめ、自然工作や森林に関する講義等**学校の要望に応じたプログラムを作成し、講師を派遣して授業を支援します。**（無料）

こんな授業での利用がおすすめです～これまでの実践例～

① 小学校1、2年生の「生活科」「図画工作科」

- ・校庭や公園の自然に親しむ活動（約45分～90分）
- ・季節の自然に親しみながら、集めた葉や種子等で自然工作をする活動（約90分～120分）
- ・育てたアサガオのついでクリスマスリースをつくる活動（約90分～120分）



② 小学校3年生からの「理科」「総合的な学習の時間」

- ・校庭や公園の樹木を観察する活動（約45分～90分）
- ・小川での水生生物の観察・調査や、地域の神社での自然観察を通して、身近な環境について考える活動（約90分～150分）



③ 小学校5年生の「社会科」

- ・「樹木も種子をつくるのか？」等の課題を設定した課題解決型学習（約90分～120分）
- ・森林に関する講義や林業体験を通して森の仕事を学ぶ活動（約90分～150分）



④ その他「校外学習」における様々なプログラム

- ・校庭の樹木紹介の準備学習や、校内の樹木マップ作り（約45分～90分）
- ・自然の家（林間学校）や遠足での自然観察、自然体験遊び、昆虫観察等（約90分～150分）

学校と講師と群馬県の三者で創りあげる「オーダーメイド」の授業です

フォレストリースクールの講師は「群馬県緑のインタープリター」が務めます

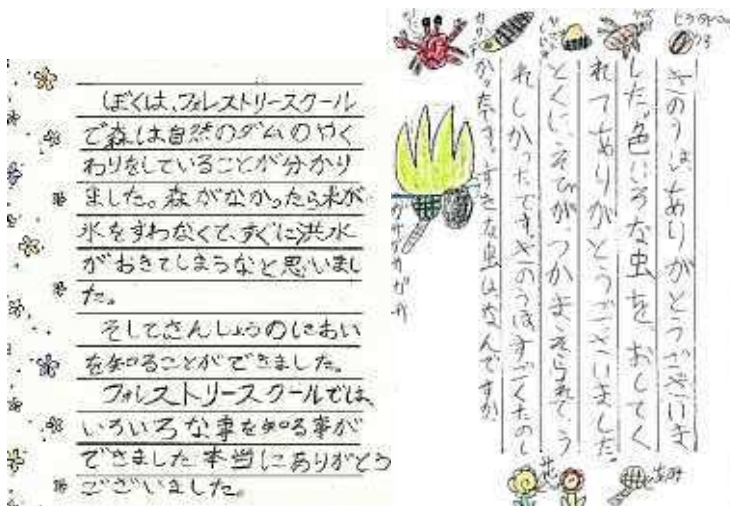
群馬県緑のインタープリターは、森林や水環境、自然に関する幅広い知識や技術を持ち、自然と人との「仲介者」になって自然解説などを行う人です。令和7年度は、66校82回のフォレストリースクールで自然観察や自然体験遊びなどさまざまな活動をしました。



子どもたちに「気づき」や「発見」、「感動」のある授業を提供します

フォレストリースクールを利用した学校の声

- 直接見たり触れたりすることで、地域の自然環境に興味・関心をもつことができました。樹木や草花、昆虫などに関する様々な知識を、子ども達にわかりやすい言葉で丁寧に教えていただき、とても勉強になりました。
- 講師の先生と落ち葉を使ったゲームをしました。葉っぱに触れて、葉の形や色の違いなどに気づいたり、特徴などを教えてもらったりしたことで、自然に対する興味・関心を高めることができました。
- 社会科の学習内容に沿っていて、わかりやすかったです。森林整備の道具や丸太など、実物をたくさん持ってきていただいたので、よく理解できました。
- 園芸委員会の活動の一環として実施しました。木の葉を触ってにおいをかいだり葉脈のこすり出しをしたりと、実際に見たり触れたりしながら学ぶことができました。子どもたちは、普段遊んだり運動をしたりしている校庭に、こんな木があったのかと新たな気づきや発見があったようです。



【フォレストリースクール利用の流れ】

希望調査（2月）→ 正式申込み（4月）
→ 実施日決定 → 事前打合せ → 実施
→ 報告・評価

■お問合せは、群馬県環境森林部森林局
林政課森林活用推進係までお願いします。

電話 :027-226-3216

FAX :027-223-0463

メール :ryokuka@pref.gunma.lg.jp

WEB :「フォレストリースクール」で検索